



かけこう通信

令和3年度第1号
令和3年5月12日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

令和3年度入学式を行いました

4月12日（月）、本校講堂において、令和3年度入学式を行いました。今年度の新入生は25人で、来賓として景山俊太郎後援会長と吉長雅昭PTA会長をお迎えし、新入生と保護者のみなさま、教職員出席のもと、晴れやかなムードの中で行われました。

新型コロナウイルス感染症対策で、残念ながら在校生の参加はできま

せんでしたが、当日は天気も良く、明るい日差しが差し込む中で、新入生は本校での新たな一歩を踏み出しました。

入学式のあとは、本校玄関前で保護者のみなさまも交えて記念撮影をしました。今年は、残念ながら掛合分校名物の桜の季節とは重なりませんでした。桜に勝る笑顔あふれる1日となりました。



対面式を行いました

4月13日（火）、令和3年度新入生を迎えて、2・3年生との対面式を行いました。

前日に入学式を終えたばかりの新入生はやや緊張した様子がうかがえましたが、この日初めて出会う2・3年生から学校生活についての様々な説明を聞き、少し緊張感がほぐれたようにも感じられました。

この日は生徒会執行部が、生徒会活動や学校行事、部活動についての紹介を、写真を交えたスライドを作成して、新入生に分かりやすく説明しました。新入生の中には早くも部活動について興味を示し、参加を希望する生徒も見られました。新入生には、早く掛合高校の生活に慣れ、充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。



新入生オリエンテーションを行いました

4月13日（水）と14日（木）の2日間、新入生に学校生活のオリエンテーションを行いました。学習や学校生活、自身のキャリア設定や図書館の利用の仕方など、順次、担当教員からの説明を受けました。

また、2・3年生からは、それぞれ「総合的な探究の時間」に研究してきたことや学校生活についての説明を受けました。このうち2年生は、前年度掛合町内5地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）



に分かれて、それぞれの地区の現状と課題、課題解決のための提案をまとめた資料を新入生に発表しました。この発表を聞いて、新入生も今年度「総合的な探究の時間」に学習する内容が具体的にイメージできたようでした。



NPO法人「カタリバ」の皆さんから 「スペシャルチャレンジプログラム」についての説明を受けました



4月20日（火）、雲南コミュニティハイスクールコンソーシアム（UCHC）のメンバーであるNPO法人「カタリバ」の皆さんから「スペシャルチャレンジプログラム」についての説明を受けました。「UCHC」は、雲南市に所在する掛合高校をはじめ三刀屋高校、大東高校の3校が、地域と連携・協働した教育を行うための、学校、行政、NPO、各学校のPTA等が参加・結成した団体です。

「スペシャルチャレンジプログラム」は、「カタリバ」が主催し、雲南市内の高校生の希望者が学校の枠を超えて参加し、自分の夢の実現のためにそれぞれが主体的に活動する取組です。すでに本校からも参加希望者が出ており、今後の積極的な活動が期待されます。

遠足に行きました

4月23日（金）、全学年そろって遠足に行きました。今年度の遠足の行き先は、直前にリニューアルオープンした「永井隆記念館」と宍道湖北岸にある「松江フォーゲルパーク」でした。

当日は、学年毎にバスに乗り込み、まずは「永井隆記念館」に行きました。リニューアルオープンしたばかりであり、とてもきれいに整備されていました。各学年ローテーションで、永井隆博士の生涯を説明したビデオの視聴、陳列された永井博士直筆の手紙など各種資料の見学、整備された庭園の散策や図書館の見学をしました。地元出身の偉人の偉大な功績を初めて知る生徒も多く、平和の尊さを改めて確認するとともによい機会となりました。



また「松江フォーゲルパーク」では、園内を飾る花の数に多くの生徒が圧倒されました。置物と間違えるようなフクロウやかわいらしいペンギン、「動かない鳥」として有名なハシビロコウなど、全国的にも知られるアミューズメントパークを楽しみました。芝生広場で行われたバードショーでは、頭上すれすれに飛ぶハヤブサやタカの大きさに驚く生徒も見られました。

当日は天気も良く、友人との親睦も深まるとても有意義な1日となりました。



かけこう通信

令和3年度第2号
令和3年6月8日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

第1回生徒総会を行いました

5月7日（金）、今年度第1回目となる生徒総会を行いました。今回は、今年度前期生徒会長の内藤大空さん（3年）と議長の濱村楓愛さん（3年）が、全校生徒の前に立ち、今年度前期の生徒会活動の方針について説明することが主な内容となりました。

まずは、昨年度後期の生徒会役員からこれまでの活動報告と生徒会会計の決算報告を行いました。それに引き続き、今年度前期の生徒会役員が新生徒会長により紹介され、議事を進めました。

内藤生徒会長は、昨年度までの生徒会活動を引き継ぎながら「より良い学校づくり」を目指し、今年度も積極的に活動を進めていくことを高らかに宣言し、特に今年度前期のメインイベントである体育祭実施に向けた全校生徒への協力を呼びかけました。また、各生徒会役員からも全校生徒への呼びかけが行われ、特に図書委員長からは図書室の有効活用について、またボランティア委員長からはペットボトルキャップの回収について改めて周知が行われました。

今年度の生徒会活動がより盛んに行われることを期待します。



宇山営農組合、雲南市等と協働した2年生の探究学習が始まりました（田植え体験学習）

5月11日（火）、今年度2年生が宇山営農組合、雲南市等と協働しながら取り組む探究学習が本格的なスタートを切りました。

この日は、雲南市吉田町宇山地区を訪れ、宇山営農組合様のご指導のもと、水田で稲の手植えを行いました。現地に到着後、宇山営農組合様と雲南市農政課様、うやま米の販売を手がける藤本米穀店様（松江市）から、宇山地区でとれる「うやま米」（品種は「コシヒカリ」または「つや姫」）の特徴などについて説明を受けました。島根県内で生産される稲の大半が、この地区で育てられた種もみであることを知りました。



ことを知りました。

お昼は、宇山営農組合様に準備していただいた「うやま米」を使ったカレーライスを味わいました。その後、いよいよ田植え体験。1時間半近くの時間をかけ、およそ10アールの水田に稲を植えました。初めて体験する生徒、教職員も多く、悪戦苦闘しながら、何とか予定されていた区画に稲を植えることができました。

秋には自分たちが植えた稲の稲刈りを行う予定です。



これから行われる「総合的な探究の時間」では、稲の生産・加工・販売に関わる多くの関係者をゲストティーチャーとして招きながら、「うやま米」の流通などについて調べるとともに、高校生の目線で販路拡大等について新たな提案をする学習活動を行います。



令和3年度PTA総会が開催されました



5月22日（土）、掛合分校講堂において、令和3年度PTA総会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催されませんでしたので、2年ぶりの開催となります。

当日は、役員を含めた27名の保護者の皆様にご出席いただき、冒頭で小林実会長、山根信夫副会長をはじめ、新年度役員の選出を行った後、今年度の事業計画などすべての協議題について議決されました。

生徒の学習活動を支えるため、今年度のPTA活動がより充実したものとなることを願っています。

島根県総合体育大会に3人の生徒が出場 剣道競技個人戦で常松博樹さん(2年)がベスト16に入りました

5月29日（土）、浜田市の県立石見武道館で行われた、島根県総合体育大会柔道競技に、3年の小林一真さんと1年の片石慶次さんが出場しました。また、6月5日（土）には、大田市総合体育館で行われた剣道競技に、2年の常松博樹さんが出場しました。

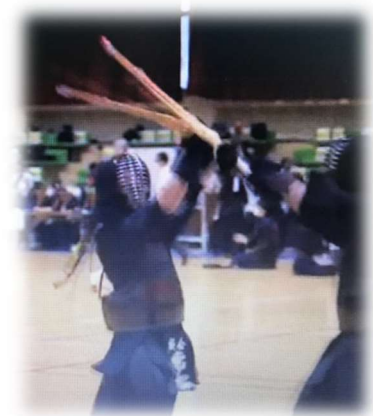
出場した3人は、競技力の更なる向上を目指して、普段は三刀屋高校本校で、本校の生徒と一緒に練習をしています。本大会では、三刀屋高校掛合分校の選手として、それぞれ個人戦に参加しました。



柔道の小林さんは1回戦で出雲西高校の選手と対戦し、これまで練習してきた成果を思う存分発揮すべく善戦しましたが、惜しくも敗退。同じく片石さんは1回戦不戦勝ののち、2回戦で同じく出雲西高校の選手と対戦し、果敢に投げを打つなど積極性を見せましたが、残念ながら敗退しました。

剣道競技は無観客で行われましたが、試合の様子はユーチューブでライブ配信され、常松さんは1回戦で飯南高校の選手、2回戦で出雲工業高校の選手に勝利し、3回戦ではシード選手である出雲西高校の選手と対戦。ドウとメンを決め、見事勝利しました。4回戦では松江南高校の選手に惜しくも敗退しましたが、117人の選手が出場する中で、見事ベスト16に入る活躍を見せました。

3人とも学校外で部活動をするという環境を乗り越え、堂々と戦いに挑みました。3人の活躍に「あっぱれ！」を送りたいと思います。





かけこう通信

令和3年度第3号 拡大号
令和3年7月21日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

地域課題解決に向けた1年生の探究学習が本格的にスタートしました

6月8日（火）、1年生が雲南市掛合町内の5地区に分かれて、地域の現状と課題を調査し、課題解決に向けた提案を行う今年度の探究学習が、本格的にスタートしました。

この日は、1年生25人が5人ずつ5グループに分かれ、掛合町内5地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）の交流センターを訪れました。各地区自治組織の代表の方から、各地区の現状や課題などについて説明を受け、生徒からの質問に答えていただきました。このうち、掛合地区では、掛合交流センターの白築敏彦センター長からの説明のあと、酒蔵「竹下本店」内にある「かけや酒蔵資料館」や道の駅「掛合の里」緑地公園などを案内していただき、掛合地区の魅力を伝えていただきました。また、松笠地区では、松笠自治振興協議会の板持保吉会長の引率で、「日本の滝百選」にも選定されている「龍頭が滝」を見学しました。生徒はその迫力に圧倒されていました。

今後は「総合的な探究の時間」の中で、各地区の現状と課題をまとめるとともに、課題解決策について、高校生の目線で新たな提案を行う学習活動を行い、秋の文化祭等で発表する予定です。



全校生徒を対象とした校外進路学習プログラムを行いました

6月10日（木）、全校生徒を対象に校外進路学習プログラムを行いました。このプログラムは、就職・進学希望グループに分かれ、午前中に就職希望者は地元企業見学、進学希望者は上級学校見学を行い、午後は全体会として進路ガイダンスを行うものです。

この日の午前中、就職希望者はゼンキンメタル（雲南市木次町）と丸ハポンプ（雲南市加茂町）を見学し、進学希望者はトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校と島根県立東部高等技術校（ともに出雲市）に分かれ、それぞれの学校を見学しました。このうち、就職希望者が訪れたゼンキンメタルでは、工場を案内していただき、板金加工の流れを知ることができました。その後の質疑応答では、「この会社を設置してある大型機械の種類はどのくらいか」「この会社で働くためにどのような能力を磨く必要があるか」などの生徒からの質問に、丁寧に答えていただきました。

午後の全体会は、出雲市商工会館の大会議室をお借りし、島根大学をはじめとした9つの大学・短大・専門学校と2つの企業がブースに



分かれ、生徒各自が希望の3カ所を回りながら説明を聞くという形式で行いました。

3年生とともに話を聞いた1・2年生は、真剣な眼差しを向ける3年生の姿を見ながら、自身の進路意識を高める様子もうかがえました。1年生から3年生が縦割りとなり同じ学習活動を行うことは、全校生徒数の少ない掛合分校ならではの、特徴的な取組の一つです。少人数であることのメリットを生かしながら、一人一人の希望に合わせた進路学習を今後も行っています。

町内保・小・中・高が連携した「ごみゼロ大作戦」に全校生徒が参加しました

6月17日（木）、掛合分校と掛合町内の保育所・小学校・中学校が連携して毎年度行っている活動「ごみゼロ大作戦」に全校生徒が参加しました。

この日は、4校園のすべての児童・生徒が町内5地区（波多・入間・掛合・松笠・多根）に分かれ、それぞれ指定された場所の清掃活動を行いました。各地区とも高校生の進行により開会式を行った後、グループごとに自己紹介を行い、その後清掃活動に入りました。このうち、入間地区では交流センター

の宿泊施設の環境整備を行いました。また、波多地区では交流センターの溝掃除や草抜きを行うなど、それぞれの場所で保・小・中・高校生が声を掛け合い、助け合いながら清掃活動に汗を流しました。

このような校種を越えた連携・交流活動は年間を通じてたくさん行われます。掛合分校生が小学生の手を取りながら優しく語りかける微笑ましい姿が見られました。



掛合小学校との交流活動を行いました ～掛小児童の「分校たんけん」、昼休み合同レク、絵本読み聞かせ～

6月23日（水）、掛合分校に隣接する掛合小学校の2年生13人が、掛合分校の見学に訪れました。掛合小学校では、生活科の授業の中で「町たんけん」の学習をしておられ、今回は掛合分校が「たんけん」の場所として選ばれました。

掛合分校の3年生が「里山の生態」の授業の中で作った畑では、栽培されている野菜の種類を言い当てたりして楽しんでいました。また、掛合分校内の池で飼われている鯉にえさをやったり、英語の授業の様子を見たりして、分校探検を満喫していました。最後に見学した図書館では、全部で6千冊の本があることに驚きの表情を見せていました。

また、6月30日（水）、昼休みの時間を利用して掛合小学校児童とのレクリエーションを行いました。この企画は、掛合分校体育委員会の生徒が提案して実現した活動で、サッカーやドッジボール、鉄棒などそれぞれが思い思いの活動を楽しみました。高校生が小学生の手をとって遊ぶ姿や、ドッジボールでは互いに本気になって投げ合う姿などが見られ、とても微笑ましい光景でした。

7月2日（金）には、3年生7人が掛合小学校を訪れ、各クラスの朝礼の時間に行われる「ほほえみタイム」で、絵本の読み聞かせを行いました。この取組は、毎年恒例で月1回のペースで行っているもの



で、今年度はこの日が3回目となります。生徒たちはあらかじめ図書館などで気に入った絵本を探し、この日のために練習を重ねてきました。本番では実物投影機で絵本を表示しながら、小学生に優しく読み聞かせました。緊張して練習の成果を十分に出せなかった生徒もありますが、各自が聞き手にわかりやすく伝えることの大切さを感じたようでした。

今後も町内保・小・中学校との連携・交流活動を進めていきます。



「先輩は語る」～卒業生から在校生へのメッセージ～

6月29日（火）、掛合分校卒業生を招き、全校生徒に今後の進路選択に向けた心構えなどについてお話しいただきました。

この企画は、「先輩は語る」というタイトルで毎年行われている恒例行事で、卒業生4人によるトーク形式で行いました。この日来ていただいたのは、有限会社日登工業の板持和希さん、協栄金属株式会社の藤原里名さん、生協しまね雲南支所の難波真央さん、ポリテクカレッジ島根に在学中の熱田敬樹さんの4人。いずれも令和元年度の卒業生で、在校生からの質問に自由に答えていく形式で行いました。



進路選択を目前に控えた3年生からは、「どうして今の会社や学校を選んだのか」「高校時代の得意科目が現在の仕事や勉強にどのように生かされているのか」など今一番関心のあることについて次々と質問があり、それぞれの質問に丁寧に答えていただきました。2年生からは「心に残っている高校時代のエピソードは何か」「高校時代に身につけておくべき能力は何か」などの質問や、中には「給料はどのくらいか」など率直な質問もあり、答えにくい内容にも高校生にわかりやすく話していただきました。

2月には、今年度第2回目の企画として、卒業を控えた3年生が1、2年生の後輩に「語る」ことを予定しています。先輩から後輩にバトンをつなぐ良き伝統が、掛合分校には残されています。

3年生を対象に就職ガイダンスを行いました

7月2日（金）、広島から外部講師2名を招き、3年生を対象に就職ガイダンスを行いました。このガイダンスは、厚生労働省と島根労働局主催の事業に掛合分校が実施を申し込むことによって実現した取組で、この日は丸一日6時間分を使って、講義から演習にいたる一連のプログラムを行いました。



最初に、講師の先生から働くことの意義や多様な職業に関する理解などについての講義を受けたあと、面接等への対策として、自己アピール文の作成、模擬面接などの演習を行いました。

就職・進学を控えた3年生は、全員が真剣な表情で全てのプログラムに積極的に取り組んでいました。進路選択を前に、自分自身を振り返る大変よい機会になりました。

特集 令和3年度体育祭

7月10日（土）、令和3年度体育祭を開催しました。大雨の影響もあり、当初予定していたグラウンドでの開催を変更し、掛合体育館で行いました。

開会式で赤組色長の山野内陸斗さんと青組色長の青木涼さんが高らかに選手宣誓を行った後、8種目の競技を行いました。「借り物競走」では、バスケットのフリースローを入れてからボールを持って帰る、観客席の保護者を連れてゴールするなどの難題が示され、苦戦しながらも楽しく競技に取り組みました。メインイベントとなる「応援合戦」では、この日のために練習を積み重ねてきたダンスを、両軍とも華麗に披露しました。手作りの衣装や背後に見える鮮やかなデコレーションが彩りを添え、両軍とも練習の成果を遺憾なく発揮しました。

閉会式後には、色別に反省会を行い、それぞれ3年生がこれまで頑張ってきた思いを後輩たちに語りました。何事にも真剣に、ひたむきに、そして楽しみながら取り組む姿は、今後も後輩たちにも引き継がれ、掛高の良き伝統として残っていきます。





かけこう通信

令和3年度第4号
令和3年9月15日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

3年生が林業体験学習を行いました

7月15日（木）、飯南町にある島根県中山間地域研究センターにおいて、3年生が林業体験学習を行いました。

この日は、同センターの広大な敷地内にある、鳥獣対策やきのこ類栽培の研究施設等を見学した後、薬用としての効果が注目されている、クロモジの葉を使ったお茶の試飲を行いました。その後、地域研究科の貫田理紗研究員に講演いただき、途中、地元定住に関するワークショップなどを交えながら、中山間地域の現状と課題について理解を深めることができました。



午後の学習では、ドローンの操作や丸太の切り出し、VRを使った木材の伐採・運搬など、島根県の林業の現状や同センターにおける研究成果について、体験的に学ぶことができました。生徒はたくさんの機器に触れ、島根県の農林業の先進性を肌身で感じる事ができたようでした。

同センターでの林業体験学習は、今年度2回の実施を予定しており、次は10月に第2回目を行う予定です。



米の生産・販売に向けた吉田町農家とのコラボ ～2年生が「うやま米」の販売戦略についてレクチャーを受けました～

7月20日（火）、2年生が取り組んでいる地元米の生産・加工・販売に係る探究学習の一環として、お米の販売に関わる3人の方をゲストティーチャーとして招き、販売戦略についてレクチャーを受けました。

今年度の2年生は、雲南市吉田町民谷宇山地区で生産されるブランド米「うやま米」の田植え、稲刈りなど米の生産の一部を体験し、米の販売促進を図るための新たな戦略を高校生目線で立案をする活動に取り組んでいます。この日は、有限会社藤本米穀店（松江市）代表取締役社長の藤本真由様、有限会社アエラ地域文化デザイン室（松江市）代表取締役の影山邦人様、安田陽子様をお招きし、お話を聞きました。

今後は、今月中旬に稲刈り体験学習、その後、農家の方をはじめとした関係者とのコラボによる販売促進グッズのデザインやPR動画の作成などを行い、11月からの販売実習につなげる予定です。



1年生有志が掛合町内小学生を対象とした夏休み体験教室にボランティアで参加しました

8月4日（水）～6日（金）の3日間、1年生有志が、掛合町の入間交流センターで行われた小学生を対象とした「夏休み学習教室」に、運営スタッフとしてボランティアで参加しました。

この学習教室では、入間地区に住む小学生を対象に、夏休みの宿題や川遊び、昼食のピザ作りなどが計画され、参加した延べ6人の生徒は、運営の手伝いをしながら、小学生と楽しいひとときを過ごしました。



また、8月7日（土）、掛合交流センターが主催する小学生を対象としたデイキャンプに、1年生有志6人が参加しました。掛合の里緑地公園で川遊びなどを楽しんだ後、夕食にはダッチオーブンを使って鶏を丸ごと1羽焼くローストチキン作りを体験することができ、その後、皆でおいしくいただきました。

それぞれが、小学生を含めた地域の幅広い年代の人たちと、楽しく交流を深めることができました。

第1回掛高基礎力テストを行いました



8月24日（火）、毎年恒例の「掛高基礎力テスト」を行いました。

今年度第1回目となるこの日は、全校生徒が全100問のテストに挑みました。問題作成は、掛合分校の全ての教職員が担い、それぞれの専門分野に関する内容の他、時事問題に関するものや「校長室だより」をはじめとする生徒あての各種おたよりの内容など、幅広く一般常識を問う問題となりました。試験後は、問題作成者である14人の教職員が、順次リモートで全校生徒に解説し、それぞれ力のこもった説明が行われました。卒業後に必要な「生きた知識」を得るための掛高オリジナルテスト。掛合分校の良き伝統です。

1年生が農業体験学習を行いました

9月8日（水）と9日（木）の2日間、1年生が掛合町内8カ所の事業所に分かれて、農業体験学習を行いました。

農業体験学習を行ったのは、飯石森林組合、だんだんファーム（以上、掛合地区）、板持農園、下組加工所（以上、松笠地区）、岡田牧場、



クラシック島根カントリークラブ（以上、多根地区）、別木農園・松村農園（入間地区）、波多交流センター（波多地区）の8カ所です。1年生は、年度当初から掛合町内5地区に分かれ、それぞれの地区の調査・探究学習を行っており、今回はその担当地区で農業体験学習を行いました。

このうち、別木農園ではトルコギキョウの栽培が行われており、生徒たちはハウスに入って園芸用ネットの手入れを行いました。また、下組加工所では梅を漬して梅肉に加工する作業を行いました。最初は慣れない手つきで作業を行っていましたが、受け入れていただいた事業所の方や交流センター職員の皆様の指導を受けながら、緊張感の中にも楽しさを感じながら体験学習を行うことができました。



かけこう通信

令和3年度第5号
令和3年10月15日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

《予告Ⅰ》11/5(金)・6(土)文化祭開催

- (1) 期日 11月5日(金)と6日(土)の2日間
- (2) 場所 掛合体育館(雲南市掛合総合センター前)
- (3) プログラム
- 1日目(11/5)・・・生徒研究発表、演劇同好会発表、各委員会・部・クラブ活動発表・展示
 - 2日目(11/6)・・・生徒会企画、Utabu(うたぶ)発表、各委員会等発表・展示
- (4) 「うやま米」の販売について
- 今年度、2年生が雲南市吉田町民谷宇山地区の農家とのコラボにより、ブランド米である「うやま米」の販売促進のための提案活動を行っています。開催期日の両日とも、会場にてそのコラボ米(新米)の販売会を予定していますので、是非お立ち寄りください。
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・保護者の皆様の来場は、原則として1家族につき2名までとしております。ご理解ください。
 - ・来場される地域の皆様には、当日受付でお名前と連絡先のご記入をお願いします。なお、県外からお越しの方の来場はご遠慮いただきたいと思いますと考えております。ご理解ください。
 - ・来場される全ての皆様には、当日受付で「健康チェックシート」(保護者の皆様には事前配付、地域の皆様には当日受付で配付いたします)のご提出をお願いします。
 - ・会場内では、入場前の検温、手指消毒、マスクの常時着用など感染症対策をお願いします。

《予告Ⅱ》11/13(土)・14(日)「たたらば壺番地」で「うやま米」販売会開催

- (1) 期日 11月13日(土)と14日(日)の2日間
- ※掛合分校とのコラボ米(新米)の販売コーナーは、11月13日(土)～28日(日)の期間、道の駅「たたらば壺番地」の産直コーナーに設置されます。
- (2) 場所 道の駅「たたらば壺番地」(松江自動車道「雲南吉田IC」隣接)
- (3) 販売会の内容について
- 今年度、2年生が田植えや稲刈りに携わり、販路拡大に向け提案活動を続けてきたブランド米「うやま米」の特別販売会を行います。当日は、道の駅「たたらば壺番地」の食事スペースにある大型モニターで生徒が作成したPR動画が常時上映されるほか、生徒がデザインしたのぼり、ポスター、販売促進のためのPOPが、販売会場全体を盛り上げます。特設テントにおいて、生徒デザインの衣装(はっぴ)を着た宇山営農組合の皆様が新米の販売をされますので、是非お立ち寄りください。

2年生が地元企業見学に出かけました



9月9日（木）、2年生が地元企業見学に出かけました。この日は株式会社アルブロン島根工場（雲南市加茂町）、雲南市木次経済文化会館チェリヴァホール（雲南市木次町）、株式会社吉田ふるさと村（雲南市吉田町）、島根イーグル株式会社、協栄金属工業株式会社（ともに雲南市掛合町）の5社を見学させていただきました。

どの企業においても、生徒からの質問に丁寧に答えていただき、将来の進路選択にあたって有益な学習をさせていただきました。

「バリアフリー講演会」を行いました

9月10日（金）、掛合分校講堂において「バリアフリー講演会」を行いました。講師は、奥出雲町にお住まいの田部博也さんをお招きし、生徒との対話形式で行いました。田部さんからは、視覚障がい者が日常生活で不便を感じる点は多々あるが、人と人とが関わり合い、互いに助け合う「共助」を実現することで、



様々な障がいを取り除くことができる、とのお話をいただきました。

この日は盲導犬のシャインちゃんも掛合分校を訪れており、合間の休憩時には生徒と触れ合う機会もありました。共生社会の在り方を考える、大変有意義な学びの場となりました。



「うやま米」販売戦略立案に向けた2年生の取組が進んでいます

今年度2年生は、宇山営農組合、雲南市、藤本米穀店、アエラ地域文化デザイン室等関係者と協働しながら「うやま米」の販売戦略を立案する学習活動を行っています。9月15日（水）、生徒がこれまで考えてきたお米の販売戦略について、宇山営農組合



の皆様にプレゼンテーションを行いました。午後からは稲刈り実習を行い、自ら刈り取った新米の販売に向け、気持ちを高めました。

また、10月5日（火）には、アエラデザイン室の影山邦人社長らをお招きし、販促グッズ等の各作成班に分かれて、商品のイメージアップを図るためのデザイン案やPR動画作成の途中経過を報告し、それぞれ今後の活動に向けご指導いただきました。



UTB部(文化系専門部)大活躍!!

【演劇同好会】出雲・石見地区演劇発表会優良賞 石飛圭祐さん、

佐藤隆聖さん、曾田昇吾さん、常松博樹さん（いずれも2年）「走れ！走れ走れメロス」

【デッサン・イラスト同好会】島根県緑化ポスター原画コンクール優良賞 佐藤里咲さん（2年）「ガーベラ」

【写真クラブ】さくらおろち湖写真コンテスト高校部門賞 山根直弥さん（2年）「おろち湖、最高の景色！」



今岡美術館（出雲市）に展示された佐藤里咲さんの作品



かけこう通信

令和3年度第6号 拡大号
令和3年11月16日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

令和3年度文化祭 “掛高祭2021”

11月5日（金）と6日（土）の2日間、掛合体育館において令和3年度文化祭「掛高祭2021」を開催しました。今年度の開催テーマ「笑顔～輝く個性で祭りを彩る～」のもと、これまでの学習活動や取り組みの成果を、保護者や地域の皆様に発表しました。



【1日目】

午前中は、これまで「総合的な探究の時間」などで取り組んできた地域調査や探究活動の成果を、学年ごとに発表しました。1年生は、年度当初から掛合町内5地区に分かれ、それぞれの地区の特色や課題の解決策についてまとめてきた内容を発表しました。2年生は同じく年度当初から吉田町民谷宇山地区の農家とコラボで取り組んできた、ブランド米「うやま米」の販売促進戦略について、その取組の成果を発表しました。会場入り口のロビーでは、宇山営農組合の皆さんによりそのコラボ米の新米が特別価格で販売され、2年生が作成した販売促進のためののぼりやPR動画の効果もあり、たくさんのお客で大盛況となりました。また3年生は、学校設定科目「地域創造」で7グループに分かれて取り組んできた、雲南市の魅力をより一層高めるための方策についてポスター発表を行いました。



1年生 地域調査研究



2年生 「うやま米」販促戦略提案



3年生 雲南市魅力化策提案

午後は、図書委員会主催で「ビブリオバトル」が行われ、出場者5人が自分の紹介したい本について熱く語りました。また演劇同好会が、9月に行われた出雲・石見地区高校生演劇発表会で演じた演目「走れ！走れ走れメロス」を全校生徒の前で発表しました。

【2日目】

生徒会主催の「掛高クイズ」、UTaBu（うたぶ）の発表など、全校生徒が参加し、祭りの気分を大いに味わいながら楽しく盛り上がりました。この日は、掛合町文化協会の皆さんの書道や絵画、工



演劇同好会発表



UTaBu（うたぶ）発表

芸品などのアート作品が数多く展示され、会場全体を彩りました。また、この日は石飛厚志雲南市長が来場され、生徒全員に向けてメッセージをいただくとともに、3年生がまとめたポスターをじっくりと観ていただきました。ロビーでは、PTAの皆さんにご協力いただいた「PTA Cafe」が開かれ、「フードデザイン」選択生徒が作った焼き菓子販売に合わせて、温かいコーヒーやおしるこなどが販売され、生徒や保護者、地域の来場者など多くの方が買い求めていました。



石飛厚志雲南市長来場



「うやま米」特別販売会



PTA Cafe

学校を取り巻く数多くの方の温かいご協力のおかげで、生徒たちがこれまで準備してきた成果が形となって表れる充実した2日間となり、今年度の文化祭は大盛会のうちに幕を閉じました。

開催にあたってご協力いただいたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

校内球技大会を行いました

10月1日（金）、掛合体育館において校内球技大会を行いました。

掛合分校では、年1回、学年対抗の校内球技大会を行っています。この日は、男子はフットサルとバレーボール、女子は卓球とバレーボールの4種目で熱戦が繰り広げられました。試合は、3チーム総当たりのリーグ戦で行われました。チームの人数が限られるため、一人が続けて試合に出場することが多く、どの試合も体力勝負の激戦となりました。



結果は、卓球を除く3種目で3年生が優勝し、最高学年としての底力を見せつけました。卓球では一矢報いた2年生も、その他の種目では2位となり、あと一步の悔しい結果となりました。1年生は、先輩たちの力強いプレーに圧倒されましたが、来年度につながる大会となりました。「スポーツの秋」を象徴する、大変楽しく爽やかな1日となりました。



3年生が今年度2回目の林業体験学習を行いました

10月7日（木）、飯南町にあるNPO法人もりふれ倶楽部所有の演習林において、3年生が林業体験学習を行いました。この学習は、島根県農林水産部が行う「高校生の林業教育推進事業」に掛合分校が申し込むことによって実現した企画で、7月に飯南町の中山間地域研究センターで行った第1回目の学習に続いて、今年度第2回目の体験学習となりました。



午前中は、飯南町の来島交流センターにおいてNPO法人もりふれ倶楽部の野田真幹事務局長から島根県の林業の現状について説明いただいた後、全員で演習林に向かいました。演習林では、4つのグループに分かれて木の枝打ち作業、木の伐採補助作業、丸太の搬出作業を全員が交替で行いました。木の枝打ち作業では、安全ベルトの装着の仕方について十分なレクチャーを受けた後、実際にはしごに登り、なたで枝を切る作業を行いました。また、丸太の搬出では、丸太にワイヤーをつないで機械で運び出す作業を体験しました。実際の作業を通して林業を学ぶ、貴重な体験をすることができました。



3年生が学校設定科目「地域創造」で地域調査研究の中間発表を行いました

3年生は、地歴・公民科の学校設定科目「地域創造」の時間に、7グループに分かれて、地域の現状や課題を調査し、その魅力化策について提案する探究活動を行っています。

10月13日（水）、NPO法人カタリバの佐藤緑さんをアドバイザーとして招き、これまでまとめてきた内容の中間発表を行いました。このうち、「奥出雲絶品！卵かけご飯」をテーマに、卵かけご飯専用醤油「おたまはん」について調べたグループは、その製法や味の特徴、消費者の反応などをまとめ、発表しました。また、「トロッコで行く 秋の雲南旅」をテーマに、JR木次線を走るトロッコ列車「奥出雲おろち号」を利用した旅行プランを提案したグループは、一泊二日団体客向けの具体的旅程を発表しました。高校生らしいアイデア満載の提案となりました。



3年生を対象に主権者教育を行いました



10月15日（金）、ロングホームルームの時間を利用して、3年生を対象とした主権者教育を行いました。テーマは「私たちが拓く日本の未来～有権者になるために～」とし、選挙と選挙権年齢、有権者になるということ、選挙の実際、選挙に関わる情報の集め方などについて、途中、クイズ等を交えながら講義を行いました。

前回の国政選挙の投票者数が、20代と60代を比べて3倍以上の開きがあったことなどを知り、18歳となった生徒にとって有権者としての初めての国政選挙となる衆議院議員選挙を前に、若者の声を政治に届けるためにも有権者としてどのような行動をとるべきか、理解を深める生徒も多く見られました。

来年4月からは成年年齢が18歳に引き下げられます。今後も継続的に、全校生徒を対象とした主権者教育を進めていきます。

2年生4名が「スペシャルチャレンジ Jr.プログラム」スタートアップイベントに参加しました

10月24日（日）、きすき健康の森創作研修棟（旧寺領小学校校舎を移築した建物）において、雲南市教育委員会主催で行われている、市内高校生を対象とした「スペシャルチャレンジ Jr.プログラム」今年度



秋冬シーズンのスタートアップイベントが行われました。

「スペシャルチャレンジ Jr.プログラム」（通称：スペチャレ）は、高校生が雲南市を舞台に、それぞれが考えたオリジナルのプロジェクトを計画・立案し、その実現に向けて挑戦的な活動を行う、約半年間のPBL（プロジェクトベースドラーニング）です。

今回の秋冬シーズンには、掛合分校から佐藤里咲さん、藤井遥翔さん、細田悠美子さん、三澤朋佳さん（いずれも2年）の4名が参加しています。このスタートアップイベントには、これまでプログラムに参加した大学生5名も参加し、3つのグループに分かれて先輩たちのこれまでの取り組みと成果について情報交換しました。今後は、プロジェクトの内容を審査会でプレゼンし、アクションを起こすための資金獲得に挑戦します。掛合分校から参加している4名の今後の活躍が楽しみです。



1・2年生の進学希望者を対象に県内専門学校ガイダンスが行われました

10月28日（木）、掛合体育館において、島根県内の専門学校が一堂に会した進学ガイダンスが行われました。掛合分校からは1・2年生の進学希望者が参加し、同じく参加した飯南高校、横田高校の生徒とともに、各ブースに分かれて説明を聞きました。



この日は、県内各地から10校の専門学校がブースを開き、生徒はそのうち希望する3校の説明を順次聞きました。まだ進路の方向性を決めていない生徒も多く、参加した生徒たちは、専門学校の担当者の説明を熱心に聞いていました。各学校の特色など具体的な話を聞くことができ、今後の進路選択にあたって大変参考となる有意義な機会となりました。



各種コンクール表彰 ～栄誉を称えて～

【令和3年度島根県高文連秋季写真コンクール】

特選：佐藤里咲さん（2年）、入選：土屋拓万さん（2年）、入選：山根直弥さん（2年）

【第32回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞】

都道府県賞：曾田昇吾さん（2年）、佳作特別賞：三澤朋佳さん（2年）、佳作：伊達清香さん（2年）

【第67回青少年読書感想文コンクール島根県審査会】優良賞：佐々木結衣さん（1年）



かけこう通信

令和3年度第7号
令和3年12月3日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

吉田町農家とのコラボ米「うやま米」の新米特別販売会を行いました

11月13日（土）と14日（日）の2日間、2年生が吉田町民谷宇山地区の宇山営農組合とのコラボにより取り組んできたブランド米「うやま米」を応援するプロジェクトの総仕上げとして、道の駅「たたらば壱番地」（松江自動車道「雲南吉田IC」隣接）において、そのコラボ米（新米）の特別販売会を行いました。

この2日間は、店舗の屋外に特設テントが建てられ、生徒がデザインしたたくさんののぼりやポスターがお客さんを出迎える中、プロジェクトに携わってきた2年生が自らデザインした衣装（はっぴ）に身をくるみ、宇山営農組合の皆さんとともにお米やおにぎりの販売を行いました。また店内では、生徒が作成したPR動画が大型モニターで常時上映され、訪れたお客さんに「うやま米」の特徴やおいしさをアピールした

他、特設の販売コーナーでは生徒が作成した販売促進のためのPOP（店頭プロモーション）が商品棚を飾り、県外からの観光客を含む多くのお客さんが販売コーナーの前で足を止めて、商品を手にとっていました。13日（土）には、石飛厚志雲南市長や景山明雲南市教育委員会教育長にも足を運んでいただき、生徒からのお米の特徴についての説明を熱心に聞いていただきました。

販売された「うやま米」には、宇山営農組合と掛合分校とのコラボを表す生徒デザインのシンボルマークのシールが貼られ、この2日間は天候にも恵まれたことも後押しして、準備したお米が概ね完売となるほどの賑わいとなりました。

春先の田植えから始まり、秋に自ら刈り取った稲がこのような商品となってお客さんの手元に渡るという一連の流れを肌身で感じることができ、2年生にとっては大変有意義な体験学習となりました。また多くの関係者との関わりの中で、改めて地元地域の良さを知ることができました。今回の協働学習でお世話になった宇山営農組合の皆さん、雲南市役所の皆さん、ゲストティーチャーとして指導していただいたアエラ地域文化デザイン室（松江市）や藤本米穀店（松江市）の皆さんに改めて感謝申し上げます。そして、この協働活動は、今後、2年生から1年生に受け継がれ、来年度に向けて引き続き高校生目線での新たなアイデアを提案していきます。



今年度2回目の掛合小学校児童との昼休み 合同レクリエーションを行いました

11月17日（水）、掛合分校の生徒と、分校に隣接する掛合小学校の児童が合同で、昼休みにレクリエーションを行いました。今年度6月30日の第1回合同レクに引き続いて2回目となります。

この日は好天にも恵まれ、グラウンドでサッカーやドッジボール、鬼ごっこなどそれぞれ思い思いの活動を楽しみました。小学生の元気いっぱいの姿に掛合分校生も圧倒されながら、時を忘れて楽しく遊びました。このような掛合町内の保・小・中・高が連携した活動を、年間を通してたくさん行っています。



2年生が職業体験学習(インターンシップ)を行いました



11月16日（火）から18日（木）の3日間、2年生が職業体験学習（インターンシップ）を行いました。雲南市内をはじめとした13の事業所にご協力を依頼し、2年生それぞれが将来の進路希望に関係する事業所を選び、そこでの体験学習をお願いしました。このうち、島根ナカバヤシ株式会社掛合工場（雲南市掛合町）では、卒業証書を入れるホルダー製作の一部を体験させていただきました。株式会社協栄ファスナー工業（雲南市掛合町）では金属部品の加工の一部を体験させていただきました。また、協栄金属工業株式会社（雲南市掛合町）では、工場での体験だけでなく、生徒本人の名刺を作っていただき、ビジネスマナーや報告書の作成まで体験させていただきました。

この3日間の体験は、学校だけでは学ぶことのできない、将来社会人として生きていくために必要な資質・能力を磨く、大変貴重な学習となりました。ご協力いただいたすべての事業所の皆様に感謝申し上げます。

この3日間の体験は、学校だけでは学ぶことのできない、将来社会人として生きていくために必要な資質・能力を磨く、大変貴重な学習となりました。ご協力いただいたすべての事業所の皆様に感謝申し上げます。



掛合小学校との合同避難訓練を行いました

11月19日（金）、毎年度行っている、掛合小学校との合同避難訓練を行いました。今回は授業中に地震が起こったことを想定し、まずは教室での安全確保、その後避難経路を確認し、非常階段からグラウンドへ避難するといった流れで行いました。小学生も同様にグラウンドに避難を始め、高校生の一部が校舎から避難する児童を誘導しました。

実際に地震や火災、その他の災害が発生した場合は、この日行ったように高校生と小学生が同時に同じ場所に避難することが想定されます。災害時に迅速に適切な行動がとれるよう、今回のような合同避難訓練を今後も実施していきます。





かけこう通信

令和3年度第8号
令和4年3月3日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

半世紀を超える伝統 今も佐中に息づく 「個人課題研究校内成果発表会」開催

過去の周年記念誌を紐解くと、掛合分校の卒業研究発表会は昭和44年度に始まったとあります。爾来、研究内容を模造紙や OHP で表現したものから、現在のプレゼンテーションソフトを用いたものまで、発表スタイルこそ変わっても生徒が主体的に取り組んだ画期的な問題解決型学習として、半世紀を超える長い歴史を刻んできたのです。今年度から名称を「個人課題研究校内成果発表会」と変えたこの卒業研究発表会は、今や生徒の自主的・主体的探究活動として、掛合分校の学習活動を語る上で、なくてはならないものとなっています。



当日は卒業を前にした3年生が、令和4年2月9日（水）の10時過ぎから音楽室を会場として、ステージからそれぞれに個別発表を繰り広げると、ネットワークで結ばれた1・2年生の各教室には、リアルタイムの映像が配信されました。来年度以降の発表に備える1・2年生にとっても、3年生が身近な題材に着目した上で、自分で仮説を立てながら検証し、提言まで持ち込む個人研究の醍醐味を肌で知ることができた貴重な機会となったはずです。掛合分校史上初めてとなるリモート開催による卒業研究発表会は、不慣れな機器操作など事前の心配をよそに、困難さを伴うと思われた「離れた場所との意思疎通」という課題も見事に乗り越えてくれました。

それでは、3年生一人ひとりが取り組んできた研究テーマをご紹介しますことにしましょう。

それぞれの発表は、時間・態度・発表技法をはじめ発表技術に関わるもの、内容に深く関係する調査方法や創意工夫の有無など、総合的な観点からは熱意や視聴者への伝達力などを点数化して評価し、優秀賞を決定します。審査の結果、優秀賞の受賞者は次のように決まりました。

- | | | |
|-----|--------|--------------------------------------|
| 優秀賞 | 岡田 結実 | テーマ「フェアトレードって知っていますか？」 |
| 優秀賞 | 松本 菜々美 | テーマ「子どもの好き嫌いをなくそう！」野菜が食べられるようになるために～ |
| 優秀賞 | 須山 良太 | テーマ「ノーズフルートで笑顔を増やそう」 |



個人課題研究テーマ一覧

1	疲労回復	8	脂肪を減らす＋体重を減らす	15	フェアトレードって知っていますか？
2	絵を描く力をのばす	9	食品を長持ちさせるには？	16	どうすれば疲れ目は回復するのか
3	ノーズフルートで笑顔を増やそう	10	楽しい自転車ライフを送る方法	17	事故しやすい車の色を知っていますか？
4	歌を自信をもって歌おう	11	今の私にできること	18	集中力を保つ
5	パン作り	12	ホラー作品を楽しむために	19	文章力を上げる ～小説を簡単に書く方法～
6	身を守る安全装備について	13	さらさらな髪を目指して	20	体温・免疫力をあげて健康に！
7	子どもの好き嫌いをなくそう！ ～野菜が食べられるようになるために～	14	消毒の効果	21	いろいろな物で水耕栽培

第66期の卒業生 慣れ親しんだ学び舎をあとに

令和4年3月1日（火）午後1時半、掛合分校の令和3年度卒業証書授与式が執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために、原則として、後援会長様・PTA 会長様以外は卒業生と保護者のみという随分寂しいものとはなりましたが、旅立ちの日を迎えた20名の掛高生は、3年間お世話になった先生や地域の皆様、支え合った仲間との別れを惜しみつつ共に過ごした思い出深い学び舎をあとにしました。

思い起こせば3年前、義務教育を終えたばかりのまだ初々しい生徒達は、期待と不安の交錯した眼差しを我々に向けていたことが、昨日のことのように脳裏に甦ります。それもそのはず、高校に入学すれば一遍に環境が変わると同時に、それぞれの中学校区より広域の、たくさんの中学校から生徒が相集うため、まずは友達づくりから始めなければなりません。まして分校では3年間クラス替えもなく、同じメンバーで学校生活を送ります。心配や不安があって当たり前でした。

あれから丸3年の月日が過ぎ去り、今こうして見違えるように逞しくなった卒業生の姿を見るにつけ、我々教職員もまたその成長の軌跡をひとつひとつ辿りながら、旅立っていく20人の生徒との出会いに改めて感謝しているところで

す。保護者の皆様方におかれましても、逞しく成長されたお子様の晴れの姿をご覧になり、感慨もまたひとしおであったことでしょう。

